



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社共和コーポレーション 上場取引所 東  
コード番号 6570 URL <https://www.kyowa-corp.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮本 和彦  
問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名)戸田 慎也 (TEL) 026 (227) 1301  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月11日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,188	19.8	599	55.9	612	60.6	339	60.4
2023年3月期第2四半期	5,999	—	384	—	381	—	211	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 363百万円(80.8%) 2023年3月期第2四半期 201百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 57.09	円 銭 56.93
2023年3月期第2四半期	円 銭 35.59	円 銭 35.44

(注) 2022年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 13,063	百万円 3,715	% 28.4
2023年3月期	百万円 13,281	百万円 3,404	% 25.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,715百万円 2023年3月期 3,404百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 8.50	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 17.50
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2024年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,270	14.7	1,049	46.4	1,054	48.2	574	32.9	96.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	6,080,130株	2023年3月期	6,080,130株
2024年3月期2Q	127,917株	2023年3月期	126,917株
2024年3月期2Q	5,952,822株	2023年3月期2Q	5,951,930株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは「3つの楽しみ（顧客満足の楽しみ、一生懸命の楽しみ、実践と行動の楽しみ）」の経営理念のもと、お客様と私たち従業員の「楽しみ」創出のために、日々事業活動を推進しております。

当社グループの主力事業でありますアミューズメント施設では、依然として景品ゲームが好調に推移しており、全体の売上高を牽引しております。新型コロナウイルス感染症の5類移行後初めてとなる夏休みには、酷暑による室内レジャー志向も相まって、たいへん多くのお客様にご来店いただきました。

コスト面におきましては、円安による仕入れコストの増加等懸念材料はあるものの、生産性向上に向けた取組みを強化しており、適切にコントロールされております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,188,575千円（前年同期比19.8%増）、営業利益は599,520千円（同55.9%増）、経常利益は612,285千円（同60.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は339,819千円（同60.4%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① アミューズメント施設運営事業

アミューズメント施設運営事業におきましては、「明るい・安心・三世代」をテーマに、清潔な店舗づくりと丁寧な接客に取り組んでおります。

アミューズメント業界全体における景品ゲーム人気は今なお継続しており、引き続き景品ゲーム機の増台やバラエティ感溢れる景品の充実に向けております。また人気Youtuberとコラボした動画配信等を通じて、アミューズメント施設の「楽しさ」を継続して発信しており、潜在顧客層の取り込みを意識した販促活動にも注力しております。

出退店につきましては、4月の「アピナ吉岡店」に続き、8月には宮城県で2店舗目となる「アピナ富谷店」を、また9月には千葉県で5店舗目となる「アピナ津田沼店」の3店舗を新規出店し、2店舗を閉店しました。これにより、第2四半期連結会計期間末での総店舗数は60店舗となっております。

以上の結果、アミューズメント施設運営事業における売上高は6,444,992千円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益(営業利益)は652,014千円（同0.9%増）となりました。

#### ② アミューズメント機器販売事業

アミューズメント機器販売事業におきましては、アミューズメント業界全般で景品ゲームが好調なこともあり、引き続き景品ゲーム機及び景品の需要が増加しております。景品販売においては、ぬいぐるみやフィギュア、小型家電等、多岐にわたるジャンルが人気を博しておりますが、加えてスクイーズを使用したオリジナル景品等の販売にも積極的に取り組んでおります。

以上の結果、売上高は318,675千円（前年同期比120.0%増）、セグメント利益(営業利益)は134,184千円（同49.0%増）となりました。

#### ③ その他事業

その他事業とは、主に各種媒体を利用した広告代理店業や、当社が所有する不動産の賃貸業、並びに子会社である株式会社ブルームの商品販売であります。ブルームの商品販売につきましては、海外及びECサイトでの物販に加え、国内直営店の販売が堅調に推移しております。

以上の結果、売上高は424,908千円（前年同期比219.8%増）、セグメント利益(営業利益)は128,828千円（前年同期はセグメント損失40,717千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して218,587千円減少し、13,063,016千円となりました。この要因は、アミューズメント機器（純額）が156,515千円増加したものの、現金及び預金が806,309千円、商品が524,833千円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して528,767千円減少し、9,347,874千円となりました。この要因は、長期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が493,948千円、未払金が465,487千円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して310,180千円増加し、3,715,142千円となりました。この要因は、利益剰余金が286,240千円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,877,238千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は1,335,994千円となりました。これは、減価償却費818,419千円、棚卸資産の減少418,991千円、仕入債務の減少298,405千円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は1,690,707千円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1,591,029千円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は87,402千円となりました。これは、長期借入れによる収入1,100,000千円、長期借入金の返済による支出959,024千円等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年8月9日に開示いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2023年11月10日開示の「2024年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正、並びに剰余金の配当（中間・増配）及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,569,848	3,763,538
売掛金	654,207	737,081
有価証券	200,000	200,000
商品	619,968	95,135
貯蔵品	172,159	271,825
その他	322,940	810,565
流動資産合計	6,539,123	5,878,146
固定資産		
有形固定資産		
アミューズメント機器 (純額)	2,576,167	2,732,683
建物及び構築物 (純額)	1,290,748	1,363,304
工具、器具及び備品 (純額)	209,459	260,092
土地	857,977	857,977
その他 (純額)	53,907	44,304
有形固定資産合計	4,988,259	5,258,361
無形固定資産		
その他	45,382	40,579
無形固定資産合計	45,382	40,579
投資その他の資産		
投資有価証券	141,843	176,268
繰延税金資産	44,391	45,203
敷金及び保証金	1,326,115	1,448,613
その他	211,890	231,245
貸倒引当金	△15,402	△15,402
投資その他の資産合計	1,708,838	1,885,929
固定資産合計	6,742,480	7,184,870
資産合計	13,281,603	13,063,016

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,714,028	1,220,080
1年内返済予定の長期借入金	1,816,648	1,662,848
未払金	1,040,830	575,342
未払法人税等	231,520	253,583
賞与引当金	87,458	94,759
その他	598,522	837,543
流動負債合計	5,489,007	4,644,157
固定負債		
長期借入金	3,821,076	4,115,852
資産除去債務	563,267	586,269
その他	3,290	1,594
固定負債合計	4,387,633	4,703,716
負債合計	9,876,641	9,347,874
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	709,709	709,709
資本剰余金	504,832	504,832
利益剰余金	2,192,127	2,478,368
自己株式	△45,925	△45,925
株主資本合計	3,360,743	3,646,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,218	68,158
その他の包括利益累計額合計	44,218	68,158
純資産合計	3,404,962	3,715,142
負債純資産合計	13,281,603	13,063,016

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,999,651	7,188,575
売上原価	2,640,497	3,353,439
売上総利益	3,359,153	3,835,136
販売費及び一般管理費	2,974,691	3,235,615
営業利益	384,462	599,520
営業外収益		
受取利息	612	491
受取配当金	1,763	1,427
太陽光売電収入	3,433	4,043
受取保険金	—	11,443
その他	6,408	12,201
営業外収益合計	12,217	29,607
営業外費用		
支払利息	13,856	12,408
その他	1,648	4,434
営業外費用合計	15,505	16,842
経常利益	381,175	612,285
特別利益		
固定資産売却益	—	545
特別利益合計	—	545
特別損失		
減損損失	—	57,560
出資金評価損	18,784	—
特別損失合計	18,784	57,560
税金等調整前四半期純利益	362,390	555,271
法人税、住民税及び事業税	155,842	226,749
法人税等調整額	△5,296	△11,298
法人税等合計	150,546	215,451
四半期純利益	211,844	339,819
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	211,844	339,819

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	211,844	339,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,655	23,939
その他の包括利益合計	△10,655	23,939
四半期包括利益	201,189	363,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201,189	363,758
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	362,390	555,271
減価償却費	664,391	818,419
減損損失	—	57,560
受取利息及び受取配当金	△2,375	△1,918
受取保険金	—	△11,443
支払利息	13,856	12,408
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△545
売上債権の増減額 (△は増加)	△23,357	△94,955
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△47,636	418,991
仕入債務の増減額 (△は減少)	396,155	△298,405
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,425	7,301
投資有価証券評価損益 (△は益)	18,784	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	43,513	71,486
その他	215,085	5,561
小計	1,656,232	1,539,731
利息及び配当金の受取額	1,796	1,451
保険金の受取額	—	11,443
利息の支払額	△13,737	△12,334
法人税等の支払額	△58,401	△204,296
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,585,890	1,335,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,329,057	△1,591,029
有形固定資産の売却による収入	—	△545
無形固定資産の取得による支出	△2,679	△810
資産除去債務の履行による支出	—	△2,682
定期預金の預入による支出	△365,500	△365,500
定期預金の払戻による収入	404,508	404,500
敷金及び保証金の差入による支出	△64,121	△139,280
敷金及び保証金の回収による収入	—	5,063
保険積立金の積立による支出	△1,851	△741
その他	822	318
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,357,877	△1,690,707
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△745,797	△959,024
配当金の支払額	△53,586	△53,573
ストックオプションの行使による収入	1,452	—
割賦債務の返済による支出	△2,273	—
リース債務の返済による支出	△1,422	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△501,627	87,402
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△273,614	△267,309
現金及び現金同等物の期首残高	4,470,829	4,144,548
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,197,215	3,877,238

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
北海道	58,919	—	58,919	—	58,919	—	58,919
東北	369,745	—	369,745	—	369,745	—	369,745
関東	1,688,496	144,863	1,833,360	77,735	1,911,096	—	1,911,096
甲信越	1,719,531	—	1,719,531	49,661	1,769,192	—	1,769,192
北陸	423,213	—	423,213	—	423,213	—	423,213
東海	1,132,224	—	1,132,224	—	1,132,224	—	1,132,224
近畿	292,619	—	292,619	—	292,619	—	292,619
その他(注4)	37,153	—	37,153	—	37,153	—	37,153
顧客との契約から生 じる収益	5,721,904	144,863	5,866,768	127,396	5,994,165	—	5,994,165
その他の収益	—	—	—	5,486	5,486	—	5,486
外部顧客への売上高	5,721,904	144,863	5,866,768	132,882	5,999,651	—	5,999,651
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	2,591	2,591	△2,591	—
計	5,721,904	144,863	5,866,768	135,474	6,002,243	△2,591	5,999,651
セグメント利益 又は損失(△)	646,153	90,058	736,211	△40,717	695,494	△311,031	384,462

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他」は、各店舗に設置した自動販売機の受取手数料等の金額であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
北海道	62,644	—	62,644	—	62,644	—	62,644
東北	454,222	—	454,222	—	454,222	—	454,222
関東	1,912,694	318,675	2,231,369	348,045	2,579,415	—	2,579,415
甲信越	1,826,477	—	1,826,477	73,177	1,899,654	—	1,899,654
北陸	424,694	—	424,694	—	424,694	—	424,694
東海	1,230,599	—	1,230,599	—	1,230,599	—	1,230,599
近畿	333,641	—	333,641	—	333,641	—	333,641
中国	159,351	—	159,351	—	159,351	—	159,351
その他(注4)	40,665	—	40,665	—	40,665	—	40,665
顧客との契約から生 じる収益	6,444,992	318,675	6,763,667	421,222	7,184,890	—	7,184,890
その他の収益	—	—	—	3,685	3,685	—	3,685
外部顧客への売上高	6,444,992	318,675	6,763,667	424,908	7,188,575	—	7,188,575
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	225	225	2,110	2,335	△2,335	—
計	6,444,992	318,900	6,763,892	427,018	7,190,911	△2,335	7,188,575
セグメント利益	652,014	134,184	786,199	128,828	915,027	△315,506	599,520

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他」は、各店舗に設置した自動販売機の受取手数料等の金額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、減損損失57,560千円を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。